

氏名	辻 玲子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1994年慶應義塾看護短期大学看護学科、1999年大分医科大学医学部看護学科、2001年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程、2021年宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本認知症ケア学会（代議員、関東1地域部会委員、査読委員）、日本老年看護学会、日本看護管理学会、日本赤十字看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会、日本看護科学学会、日本褥瘡学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	Outpatient Nursing Support to Prevent Elder Abuse after Detecting Such Signs	単独	第28回EAFONS 韓国ソウル市	○辻玲子		2025.2
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高齢者虐待の予兆を察知し虐待に至らしめない外来看護支援モデルの検証と評価	研究代表者		2022.4～2026.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高校生ヤングケアラーのQOLに資する支援者間連携モデルの構築	研究分担者		2023.4～2026.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	老年看護学Ⅰ		2	学部1年次生に、老年期を生きる高齢者の特徴長寿者の生活と看護について、視聴覚教材を活用した事例学習を講義した。		
2	認知症看護		1	学部4年次生選択者47名に、認知症の人の介護者支援をしながら、高齢者虐待に至らしめない予防も含む看護実践についてを講義した。		
3	家族看護学		1	学部2年次生に、認知症高齢者を介護する家族支援（日本の現状と課題、支援の考え方、サポートの種類、援助の実際）を講義した。		
4	地域ケア支援論		2	修士課程1年次生と地域における認知症高齢者への支援について、関連文献を抄読しながら、実態と今後の課題のディスカッションを行った。		
5	老年看護援助論		2	修士課程1年次生と身体拘束予防についてとエンドオブライフケアに関して、講義と学生の臨床における事例において検討した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ (援助技術)		12	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポンジブラシと口腔ケア用ウェットティッシュと保湿剤を用いた自己口腔ケア演習と、口腔ケアモデルを用いた義歯の出し入れ演習をした (2コマ) ・ 高齢者疑似体験セットを患者役の学生に着用させて、移動能力が低下した高齢者のもてる力を発揮した起き上がり援助を実践する演習を行った (2コマ) ・ パーキンソン病の人への排泄援助技術で、おむつ交換トレーニングモデルを用い、模擬尿の観察をし、又ベッド上でおむつ装着およびおむつ交換の体験演習を行った (3コマ) ・ パーキンソン病患者と一緒に楽しむレクリエーションの体験演習を行った (2コマ)
2	老年看護学Ⅲ (看護過程)	○	15	老年看護実践に必要な情報の収集、アセスメントの記述、看護上の問題・課題の記述についての講義とグループワークを行い、看護過程を展開できるように教授した。
3	老年看護学Ⅳ (地域とケアシステム)		8	1～6回は、グループワークを行う際にラウンドして、進行状況を確認したり、質問に回答した。7～8回は、「高齢者の暮らしを支える老年看護のあり方」の成果発表である実習施設ごとの発表会及び全体発表会の運営を行った。
4	スタートアップセミナー		15	1年次生に対して、前半の講義では“大学生生活の基礎知識”と“学士力育成のための基盤となる読み、書き、話すといったリテラシー”を教授し、後半では、少人数グループに分かれて課題解決型学習の支援を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ		2024.4～2024.6	2年次生16名を担当し、2か所の老人福祉センターにおける元気高齢者とのコミュニケーションを中心とした実習指導を4週間かけて (1人につき2日) 行った結果、高齢者へのイメージや捉え方が変化した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2024.10～2024.12	3年次生21名を対象に、医療療養型病床の使用又は学内での8週間の実習と特別養護老人ホームの対面実習を行った結果、看護展開しつつ、高齢者の病状やADL、認知症の症状にあわせた援助や多職種との連携の基礎を学ぶことができた。
3	総合実習		2024.4～2024.8 学外実習：4日 学内ゼミ：4コマ	4年次生4名が、医療療養病棟での3週間の実習において、自分の課題と向き合いながら、介護度が高い患者への看護実践が展開・体験をして、かつリフレクションができるように、事前ゼミと実習中を通してアドバイスをした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.1	主指導	4名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	老年看護学概論 (非常勤講師)	2024.12～2025.2	上尾看護専門学校1年生約40名への講義を対面で14コマ施行した。	
2	修士課程 (老年看護) の研究指導参加	2024.4～2025.3	修士課程1年生のゼミに参加し、研究計画書作成の支援を行った。	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	本学オープンカレッジ講座	埼玉県立大学 看護学科老年看護学領域	高齢者（認知症など）ケアを語り合う会（卒業生との交流会）運営 2024.11
2	院内看護研究指導	草加市立病院	6グループに対して、8回に渡り、研究疑問を研究計画書にまとめるまでの指導を行った。 2024.4～2025.3
3	関東1地域部会 事例検討会 運営	日本認知症ケア学会	多職種よれば文殊の知恵：夫婦で認知症の方々への支援 2025.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本認知症ケア学会	関東1地域部会委員	2014.4～現在
2	日本認知症ケア学会	日本認知症ケア学会誌査読委員	2020.6～現在
3	日本認知症ケア学会	認知症ケア専門士認定試験 第2次試験審査委員	2024.11
4	越谷市	越谷市防災会議委員	2024.4～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会委員	2023.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	過半数代表者	2024.4～2025.3
3	学科等における委員会等	看護学科カリキュラム運営検討会委員	2024.4～2026.3
4	大学広報活動	埼玉県立坂戸高校1～3年生20名の大学見学の際に看護学科紹介を行った	2024.5
6	大学広報活動	オープンキャンパス 教員相談運営	2024.6
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		